



シロモチくんとみすぎんが語る津市政 vol.37

森を守る税はどんなことに使われるの？ ～森林環境税で豊かな森を守り育てよう～

令和6年度から森を守るための新しい税が1人1,000円徴収されることになりました。この税はどのように使われるのでしょうか。シロモチくんが森の妖精みすぎんに尋ねました。

1人年額1,000円を徴収

ねえねえ、みすぎん。森林に関する新しい税金がはじまるって聞いたんだけど？

そうなんだ。森林環境税っていう国の税金ができて、令和6年度から課税・徴収されるんだ。森林には雨水を蓄えるダム役割や、土砂崩れを防いだりするいろいろな機能があって、その恩恵を

みんなが受けているんだよ。今、手入れができなくて弱っている森林が全国にたくさんあって、そんな森林をみんなで支える仕組みなんだ。

その森林環境税はどのように徴収されるの？

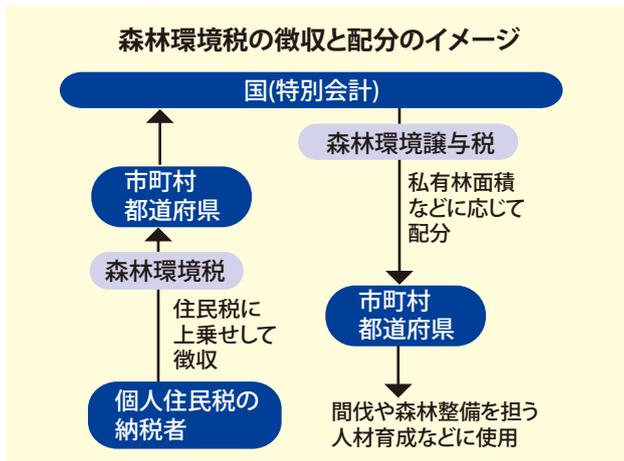
国の税金として1人年額1,000円を上乗せして、市町村が徴収することになっているんだ。

国の税金っていうけど、市町村にはどうやって配分されるの？

国に一旦集められ、森林環境譲与税として間伐などを実施する市町村に9割、それを支援する都道府県に1割の割合で配分されるんだ。

森林環境譲与税はいったい何に使うの？

津市では自分で森林の手入れができない人に代わって、間伐などの整備をする森林経営管理制度に使うんだよ。



森を育てる

森林の経営管理ってどういうこと？

森林の経営っていうのは、山に苗木を植え、下